

市 場 概 要

(本場・東部市場・南港市場)

令和6（2024）年4月

大阪中央卸売市場



目 次

はじめに	1
大阪市中央卸売市場所在地見取図	2
<本場及び東部市場>	
1 市場の沿革	3
2 市場の施設	6
3 取扱品目	12
4 市場の機構	12
5 取扱数量及び金額	14
6 年次別取扱高	20
7 取扱品搬出状況	23
8 種類・業務形態別搬出量割合表	27
9 入出場調査	28
<南港市場>	
1 市場の沿革	29
2 市場の施設	30
3 取扱品目	32
4 市場の機構	32
5 取扱数量及び金額	34
6 年次別取扱高	36
7 入出場調査	37
<参考資料>	
市場の事務機構	38
市場の年表	39

はじめに

中央卸売市場は、私たちの日常生活に欠くことのできない野菜、果実、水産物、肉類などの生鮮食料品等について、様々な産地から集荷し、公正な価格形成を行い、市民・消費者へ安定的に供給するという生鮮食料品流通において中心的な役割を担っています。

令和6年4月現在、中央卸売市場は、全国で64市場（39都市）が開設されており、本市では、野菜、果実、水産物などを取り扱う **本場** 及び **東部市場**、肉類（鳥肉を除く。）を取り扱う **南港市場** の3市場を開設しています。いずれも西日本を代表する卸売市場であり、大阪市を中心とする大都市圏における消費地市場として安全・安心な生鮮食料品等を供給し、市民等消費者の食生活の安定に寄与しています。

大阪市中心卸売市場所在地見取図

本 場 福島区野田 1 丁目 1 番 86 号 TEL 06-6469-7955 FAX 06-6469-7979
 東部市場 東住吉区今林 1 丁目 2 番 68 号 TEL 06-6756-3901 FAX 06-6756-3905
 南港市場 住之江区南港南 5 丁目 2 番 48 号 TEL 06-6675-2010 FAX 06-6675-2029

<https://www.city.osaka.lg.jp/shijo/index.html>

本 場 Central Wholesale Market (Honjo)



〒553-0005 大阪市福島区野田1-1-86

☎(06) 6469-7955 ㊟(06) 6469-7979

交通／JR大阪環状線「野田」

またはOsaka Metro 千日前線「玉川」下車、徒歩約10分

京阪電鉄中之島線「中之島」下車、徒歩約15分

南港市場 South Port Wholesale Market (Nanko)



〒559-0032 大阪市住之江区南港南5-2-48

☎(06) 6675-2010 ㊟(06) 6675-2029

交通／Osaka Metro ニュートラム「フェリーターミナル」駅
 下車後、シティバス15号系統(南港南六丁目行き)へ乗り継ぎ、
 「南港南四丁目」停留所下車、徒歩約5分



東部市場 East Wholesale Market (Tobu)



〒546-0001 大阪市東住吉区今林1-2-68

☎(06) 6756-3901 ㊟(06) 6756-3905

交通／JR関西本線(大和路線)「東部市場前」下車、徒歩約5分
 シティバス「今林東部市場前」下車、すぐ

本場及び東部市場

1 市場の沿革

生鮮食料品の市場が形成されたのは、豊臣秀吉が大坂城を築城した頃からであり、それ以来発展し、昭和の初期まで盛況を呈した大阪の名高い市場として、天満、ざこば、靱（うつぼ）、木津、難波などがありました。

第一次大戦が終わった大正 7 年頃は、経済情勢が不安定であったため、物価への影響を危惧した大阪市は、大正 7 年 4 月に公設小売市場を設置し、日用品の廉売と物価の安定を図りました。同年 7 月に起きた「米騒動」は、国民の食生活に影響が多かったことから、国においてもその対策を検討することとなり、本市の公設小売市場の設置に刺激され、生鮮食料品の取引の正常化、適正な価格形成を目的として、大正 12 年 3 月に中央卸売市場法が制定されました。

本市においても、市民の食生活安定のために公設小売市場の親市場として、中央卸売市場の開設が必要であると判断し、調査委員会等を設置し検討を重ねました。その結果、水陸運ともに至便な福島区野田を最適地として決定し、全国に先がけて大正 14 年 3 月に国の認可を得て着工し、当時東洋一を誇る堂々たる総合市場として、昭和 6 年 11 月 11 日に現在の中央卸売市場（本場）が敷地面積約 126,000 m²で開場しました。この開場と同時に従来から繁栄していた私設卸売市場については、ほとんどが中央卸売市場に吸収され、開場後 1 年間（昭和 7 年）の取扱量は 39 万トンに達しました。

また、第二次大戦終戦直後の統制中は、生鮮食料品の集荷配給機関として本来の市場機能を一次中断しましたが、統制の解除とともに、昭和 25 年 5 月から仲買制度の復活など再び本来の市場の姿に戻り、取扱量も 45 万トンまで回復しました。

一方、戦後の市内人口の回復とともに、周辺都市、近隣府県の人口も伸び、消費が激増し、大阪市内を対象とした消費市場であったものが、いわゆる集散市場の性格も色濃く併せ持つようになり、取扱量は毎年増加の一途をたどっていきました。それとともに輸送手段の大型化・高速化が急速に進み、市場施設が狭あい・過密となり、その打開策として昭和 29 年 1 月、市東南部にあたる東住吉区今林に第 2 中央卸売市場（東部市場）の建設計画を立て、敷地面積 83,000 m²で、

昭和 33 年 11 月より着工しました。建設にあたって、用地買収その他多くの課題がありましたが、昭和 39 年 11 月 20 日に施設が完成し、11 月 25 日より業務を開始しました。

昭和 39 年には、本場の取扱量も開場当時の 2 倍強の 82 万トンを超え、その後も毎年 1 割近くの増加を示し、昭和 45 年に 120 万トンに達したことから、取扱量の増加や自動車輸送の激増に対処し、また、老朽施設の改善と過密・狭あい化打開のため、拡張整備事業(現在の市場西棟)を実施し、昭和 50 年 11 月に果実・乾物等の部門を、昭和 51 年 2 月に漬物売場をそれぞれ移転しました。

しかし、本場開場から 60 年余りを経て、施設の老朽化が著しく、耐震構造の施設への建替えや、生鮮食料品等にかかる流通環境の変化や多種多様な消費者ニーズ、情報化の進展への対応が求められていたことから、食品流通の基幹的役割を充分果たすことができる機能を有するとともに、環境対策や衛生面に配慮した廃棄物の処理施設等を備えた近代的な市場を目指し、平成元年度より抜本的な施設整備事業に着手しました。平成 4 年 9 月に業務管理棟が完成し、その後引続き市場棟（現在の市場東棟）及び関連棟の工事を進め、足掛け 10 年に及んだ現地建替が平成 14 年 11 月に完成しました。さらに、物流機能の強化を図るため、平成 15 年 6 月から配送加工棟の整備に着工し、平成 16 年 7 月に完成しました。

また、コールドチェーンの確保やHACCP対応の保冷库・加工場が求められていたことから、令和 2 年度から業務管理棟北側の整備に着手し、令和 5 年 2 月に買荷積込所が完成しました。

東部市場においては、その後、取扱量の増加に伴い昭和 52 年 12 月に施設の拡張を行い、加工食料品売場を移転し、引き続き昭和 53 年度から、仲卸売場棟の全面改築工事を実施し、昭和 56 年 3 月に完成しました。さらに、平成 12 年 3 月に流通の効率化を図るために、加工機能と配送機能を一体化した配送加工センターを新設しました。

しかし、開設から 40 年以上経過し、施設の老朽化が著しく、機能的にも様々な課題が生じてきたことから、これらの解消を図るとともに、今後ますます激しさを増すと予想される市場間競争に対応できる基盤整備が必要なため、「効率的な物流の創出」と「食の安全・安心への対応」をコンセプトとして、市場機能の向上と競争力強化につながる整備をめざし、平成 20 年 10 月、再整備事業に着手し、平成 24 年 4 月から一層機能的で使いやすい市場として生まれ変わりました。

た。今回の再整備事業では、青果卸売場棟の建替え、冷蔵庫棟及び関連棟の建替え再配置を行い、産地トラックの大型化に対応した荷受作業の円滑化、場内の車輛通行の改善策を講じるとともに、量販店等との取引にかかる荷さばき・出荷作業を円滑に行うための荷さばき出荷ゾーンも新たに設置しました。また、水産卸売場を全面低温化するなど、品質鮮度を保つための低温卸売場を拡大したほか、ごみドラムの新規導入により衛生面の強化を行いました。さらに、買出人駐車場には、雨や日差しを防ぐ大屋根を設置し、市場関係者への利便性の向上を図りました。

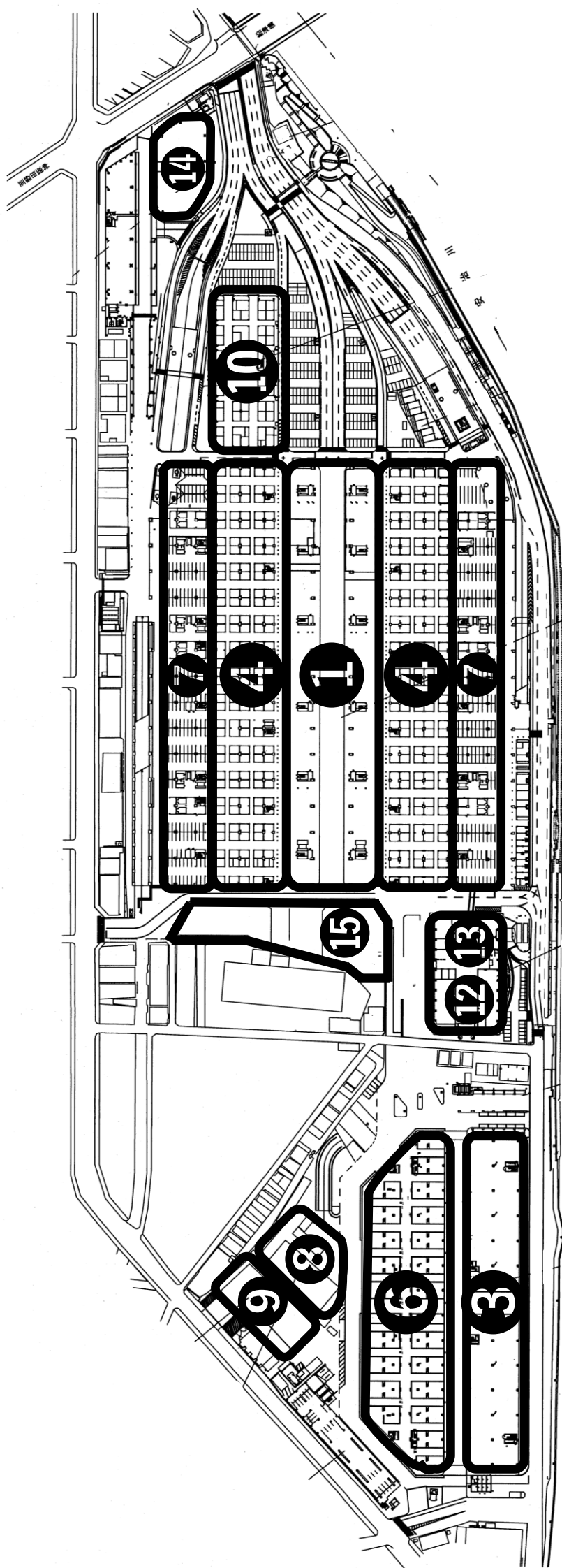
2 市場の施設

(1)本 場

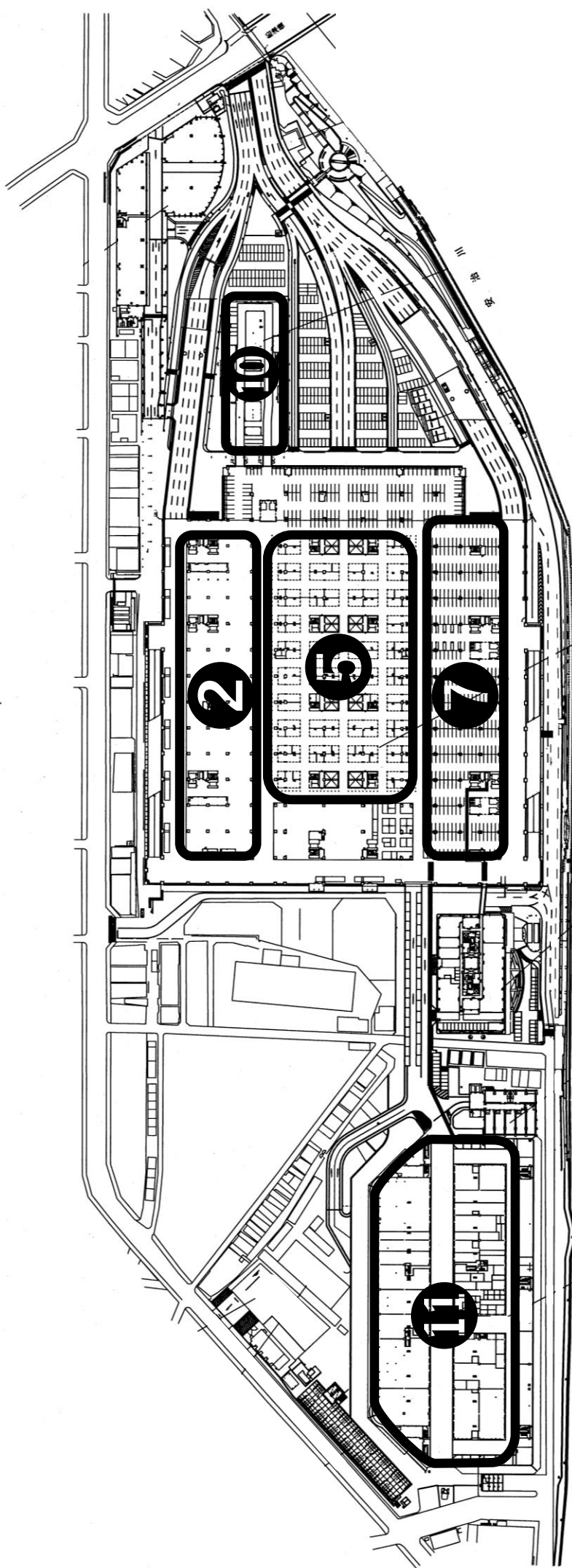
位 置 大阪市福島区野田1丁目1番86号
面 積 敷 地 177,955㎡
建面積 102,902㎡ 延面積 314,221㎡

本場の主な施設

施設名称	所 在	面積(㎡)
卸売場	①市場東棟1階（水産） ②市場東棟3階（野菜） ③市場西棟1階（果実）	53,586
仲卸売場	④市場東棟1階（水産） ⑤市場東棟3階（野菜） ⑥市場西棟1階（果実）	49,885
駐車場	⑦市場東棟1階、3階 ⑧市場西棟北側平面 ほか	128,744
買荷保管・積込所	⑨買荷保管・積込所	7,607
関連事業者営業所	⑩関連棟1階、3階 ⑪市場西棟3階 ほか	9,384
管理事務所	⑫業務管理棟	10,090
業者事務所	⑬業務管理棟 ほか	58,312
加工施設	⑭配送加工棟2階 ほか	5,734
買荷積込所	⑮買荷積込所	2,948
その他施設（倉庫等）		13,633



中央卸売市場本場 配置図兼 1 階平面図



中央卸売市場本場 配置図兼 3 階平面図

(2)東 部 市 場

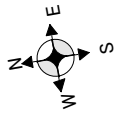
位 置 大阪市東住吉区今林1丁目2番68号

面 積 敷 地 105,615㎡

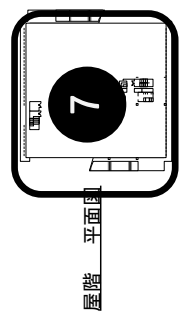
建面積 64,581㎡ 延面積 167,895㎡

東部市場の主な施設

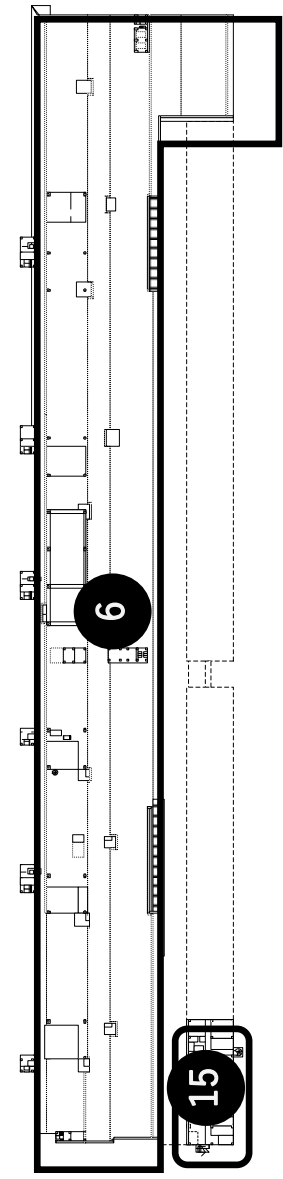
施設名称	所在	面積(㎡)
卸売場	❶水産卸売場棟1階 ❷青果卸売場棟1階 ❸卸売場棟1階(近郷卸売場) ほか	17,739
仲卸売場	❹仲卸売場棟1階(水産・青果) ❺加工食料品売場棟1階	33,406
駐車場	❻仲卸売場棟屋階 ❼加工食料品売場棟3～屋階 ほか	46,315
	❽平野川暗渠	14,816
冷蔵庫	❾冷蔵庫棟	1,571
	❿仲卸売場棟3階(場内事業者所有)	2,357
買荷保管・積込所	⓫水産・青果卸売場棟南側 ほか	7,939
関連事業者営業所	⓬関連営業棟西 ⓭関連営業棟東 ⓮関連営業棟北 ほか	2,442
管理事務所	⓯水産卸売場棟3階 ほか	1,409
加工施設	⓰配送加工センター棟 ほか	4,318
業者事務所	各施設	11,474
倉庫	各施設	20,750



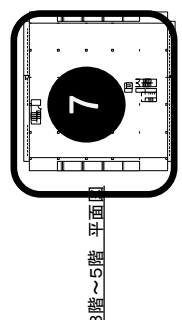
大阪市中央卸売市場東部市場 平面図



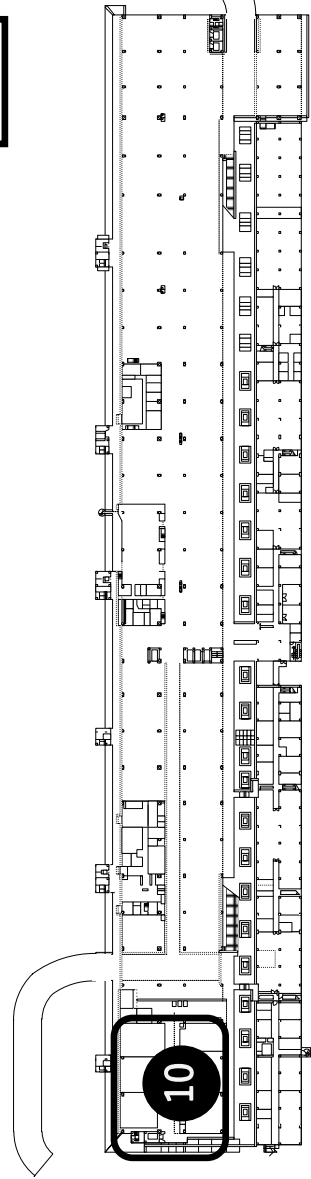
屋階 平面図



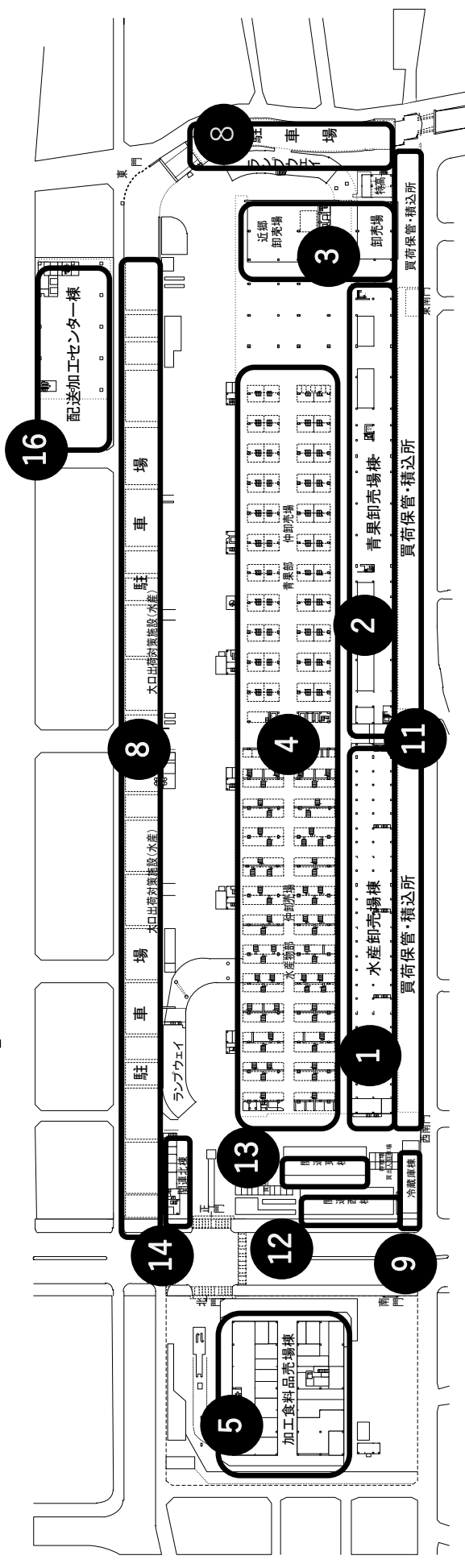
屋階 平面図
(卸売場棟3階)



3階~5階 平面図



3階 平面図
(卸売場棟2階)



3 取扱品目

本場、東部市場は総合市場として次の生鮮食料品等を取り扱っています。

<本場>

- | | |
|-----------|---|
| (1) 青 果 | 野菜、果実及びこれらの加工品、冷凍食品（鳥肉以外の肉類に係るものを除く。） |
| (2) 水 産 物 | 生鮮水産品及びその加工品、魚肉入加工品、冷凍食品（鳥肉以外の肉類に係るものを除く。） |
| (3) 加工食料品 | 漬物、みそ、乾物及びこれに準ずる加工品、魚肉入加工品、冷凍食品（鳥肉以外の肉類に係るものを除く。） |

<東部市場>

- | | |
|-----------|--|
| (1) 青 果 | 野菜、果実及びこれらの加工品、冷凍食品（鳥肉以外の肉類に係るものを除く。） |
| (2) 水 産 物 | 生鮮水産品及びその加工品、魚肉入加工品、冷凍食品（鳥肉以外の肉類に係るものを除く。） |

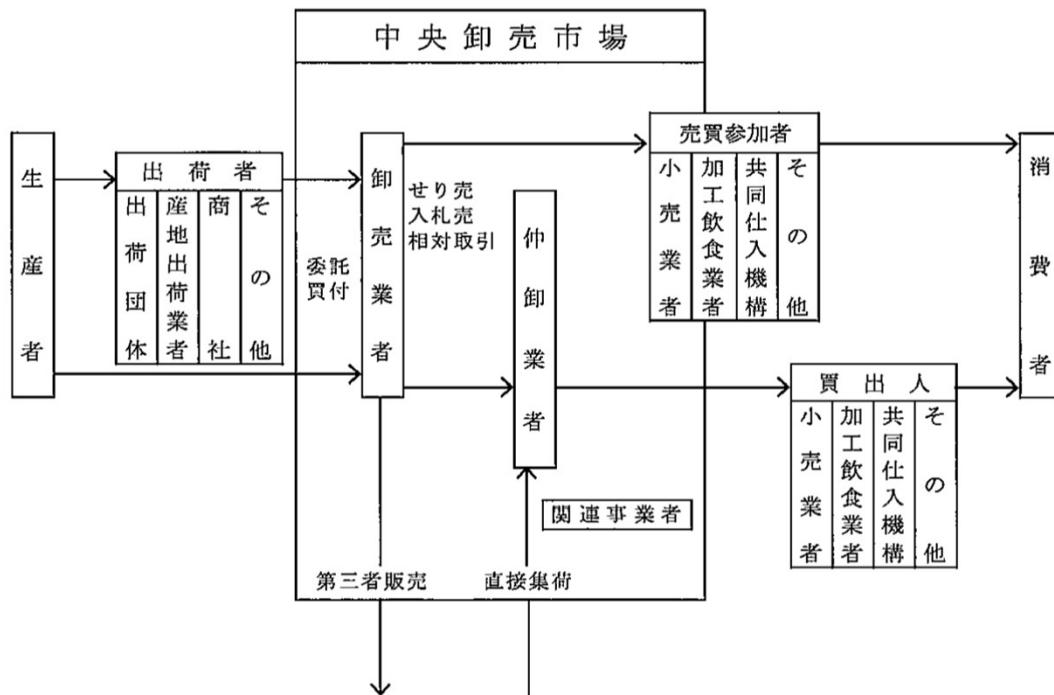
4 市場の機構

市場の機構及び業務運営は、すべて卸売市場法、同法施行規則、大阪市中心卸売市場業務条例及び同条例施行規則に基づいています。市場機構の主たるものは次のとおりです。

なお、開設者は大阪市中で、市場施設の維持管理と業務運営の指導監督にあたっています。

- | | |
|-------------|---|
| (1) 卸 売 業 者 | 市長の許可を受け、出荷者から生鮮食料品等の販売の委託を受け又は買い受けて、せり売、入札又は相対取引によって仲卸業者及び売買参加者等に販売する者。 |
| (2) 仲 卸 業 者 | 市長の認定を受けて、市場内に設置する店舗において、卸売業者から卸売を受けた生鮮食料品等を仕分けし、または調製して小売業商、その他の買出人に販売する者。 |
| (3) 売買参加者 | 仲卸業者でない者で、市長の認定により、せり又は入札に参加して卸売業者から卸売を受けることができ、直接消費者に販売することを業務とする大口需要者等。 |
| (4) 関連事業者 | 市長の承認を受けて、市場において市場機能の充実に資する業務または市場の利用者に便益を提供する業務を市場内において行う者。現在承認している者は本場で 100 業者、東部市場で 37 業者。 |

(5) 取引の経路



(6) 卸売業者数、仲卸業者数及び売買参加者数

(令和6年4月1日現在)

種 類		本 場			東 部 市 場		
		卸売業者	仲卸業者	売買参加者	卸売業者	仲卸業者	売買参加者
青 果	野 菜	2	64	2	1	17	16
	果 実		37			4	
	計	2	101	2	1	21	16
水産物	生鮮水産物	2	89	4	2	36	2
	加工水産物		42			21	
	計	2	131	4	2	57	2
加工食料品	漬 物	1	2	0	-	-	-
	乾 物	1	1	0	-	-	-
	計	2	3	0	-	-	-
合 計		6	235	6	3	78	18

5 取扱数量及び金額

(1) 令和5年中取扱高（開場日数252日）

① 本場・東部市場合計

種 別	類 別	1 日 平 均		1 年 間	
		数 量	金 額	数 量	金 額
青 果	野 菜	1,861 ^{トン}	459,007 ^{千円}	469,068 ^{トン}	115,669,851 ^{千円}
	果 実	754	380,379	189,929	95,855,462
	計	2,615	839,386	658,997	211,525,312
水 産 物	生 鮮 水 産 物	192	247,213	48,342	62,297,684
	冷 凍 水 産 物	66	110,520	16,672	27,851,037
	加 工 水 産 物	121	178,284	30,492	44,927,484
	そ の 他	15	12,299	3,721	3,099,278
	計	394	548,315	99,227	138,175,482
加 食 料 工 品	つ け 物	1	625	273	157,387
	乾 物	7	11,653	1,754	2,936,450
	計	8	12,277	2,027	3,093,836
合 計		3,017	1,399,979	760,251	352,794,631

※項目別四捨五入のため合計と一致しないことがある。

※その他には魚肉入加工品と冷凍食品が含まれる。

② 本場・東部市場の比率

種 別	類 別	数 量		金 額	
		本 場	東部市場	本 場	東部市場
青 果	野 菜	79 [%]	21 [%]	82 [%]	18 [%]
	果 実	70	30	76	24
	計	76	24	79	21
水 産 物	生 鮮 水 産 物	78	22	76	24
	冷 凍 水 産 物	64	36	63	37
	加 工 水 産 物	56	44	62	38
	そ の 他	55	45	53	47
	計	68	32	68	32
加 食 料 工 品	つ け 物	100	—	100	—
	乾 物	100	—	100	—
	計	100	—	100	—
合 計		75	25	75	25

※項目別四捨五入のため合計と一致しないことがある。

※その他には魚肉入加工品と冷凍食品が含まれる。

③ 本 場

種 類 別		1 日 平 均		1 年 間	
		数 量	金 額	数 量	金 額
青 果	野 菜	1,463 ^{トン}	374,652 ^{千円}	368,742 ^{トン}	94,412,390 ^{千円}
	果 実	527	289,277	132,886	72,897,906
	計	1,991	663,930	501,628	167,310,297
水 産 物	生 鮮 水 産 物	149	187,975	37,622	47,369,703
	冷 凍 水 産 物	42	69,830	10,627	17,597,247
	加 工 水 産 物	68	109,645	17,099	27,630,657
	そ の 他	8	6,468	2,063	1,629,975
	計	267	373,919	67,410	94,227,583
加食 料 工品	つ け 物	1	625	273	157,387
	乾 物	7	11,653	1,754	2,936,450
	計	8	12,277	2,027	3,093,836
合 計		2,266	1,050,126	571,065	264,631,716

※項目別四捨五入のため合計と一致しないことがある。

※その他には魚肉入加工品と冷凍食品が含まれる。

④ 東 部 市 場

種 類 別		1 日 平 均		1 年 間	
		数 量	金 額	数 量	金 額
青 果	野 菜	398 ^{トン}	84,355 ^{千円}	100,326 ^{トン}	21,257,460 ^{千円}
	果 実	226	91,101	57,043	22,957,556
	計	624	175,456	157,369	44,215,016
水 産 物	生 鮮 水 産 物	43	59,238	10,720	14,927,981
	冷 凍 水 産 物	24	40,690	6,045	10,253,790
	加 工 水 産 物	53	68,638	13,394	17,296,826
	そ の 他	7	5,831	1,658	1,469,303
	計	126	174,396	31,817	43,947,899
合 計		751	349,853	189,186	88,162,915

※項目別四捨五入のため合計と一致しないことがある。

※その他には魚肉入加工品と冷凍食品が含まれる。

(2) 主要産地別取扱量

(青 果)

① 本 場

種類 別 順位	青			果		
	野 菜			果 実		
	産 地	取扱数量	前年比	産 地	取扱数量	前年比
1	北 海 道	74,034 ^{トン}	107 [%]	和 歌 山 県	26,488 ^{トン}	105 [%]
2	長 野 県	37,550	99	青 森 県	23,763	106
3	茨 城 県	25,024	116	フィリピン	8,177	94
4	兵 庫 県	24,740	97	長 野 県	8,006	95
5	長 崎 県	24,736	97	熊 本 県	5,708	99
6	愛 知 県	20,449	104	鳥 取 県	4,253	91
7	熊 本 県	18,838	92	愛 媛 県	4,126	93
8	徳 島 県	17,284	99	長 崎 県	4,076	97
9	群 馬 県	14,933	101	山 梨 県	3,928	94
10	福 岡 県	10,687	103	ア メ リ カ	3,197	86

② 東 部 市 場

種類 別 順位	青			果		
	野 菜			果 実		
	産 地	取扱数量	前年比	産 地	取扱数量	前年比
1	北 海 道	14,241 ^{トン}	94 [%]	フィリピン	24,019 ^{トン}	93 [%]
2	長 野 県	12,100	88	ニュージーランド	4,420	100
3	愛 知 県	9,442	96	青 森 県	4,138	99
4	茨 城 県	6,684	112	和 歌 山 県	3,836	98
5	長 崎 県	6,627	103	熊 本 県	2,286	100
6	兵 庫 県	5,856	134	ア メ リ カ	2,124	93
7	徳 島 県	5,303	100	長 崎 県	1,857	97
8	鹿 児 島 県	4,854	88	メ キ シ コ	1,428	136
9	群 馬 県	4,445	94	チ リ	1,375	103
10	大 阪 府	3,316	105	愛 媛 県	1,371	97

(水産物)

① 本 場

種類 別 順位	水 産 物								
	生 鮮 水 産 物			冷 凍 水 産 物			加 工 水 産 物		
	産 地	取扱数量 トン	前年比 %	産 地	取扱数量 トン	前年比 %	産 地	取扱数量 トン	前年比 %
1	長 崎 県	4,061	91	ロ シ ア	804	94	兵 庫 県	1,433	85
2	北 海 道	3,550	98	イ ン ド	777	146	中 国	1,249	109
3	愛 媛 県	3,063	96	北 海 道	728	159	大 阪 府	1,083	90
4	宮 城 県	2,382	110	チ リ	650	88	北 海 道	965	85
5	高 知 県	2,214	106	カ ナ ダ	566	122	チ リ	849	99
6	鳥 取 県	2,166	125	静 岡 県	546	110	ア メ リ カ	765	109
7	兵 庫 県	1,396	93	ノ ル ウ ェ ー	499	100	千 葉 県	609	98
8	三 重 県	1,373	93	ア メ リ カ	461	103	ロ シ ア	603	81
9	石 川 県	1,281	99	エ ク ア ド ル	436	343	イ ン ド	539	117
10	鹿 児 島 県	1,246	93	韓 国	371	84	愛 知 県	415	80

② 東 部 市 場

種類 別 順位	水 産 物								
	生 鮮 水 産 物			冷 凍 水 産 物			加 工 水 産 物		
	産 地	取扱数量 トン	前年比 %	産 地	取扱数量 トン	前年比 %	産 地	取扱数量 トン	前年比 %
1	愛 媛 県	1,238	102	モ ロ ッ コ	1,242	107	大 阪 府	3,144	92
2	長 崎 県	1,139	78	ノ ル ウ ェ ー	403	118	兵 庫 県	1,674	85
3	北 海 道	829	85	台 湾	397	94	チ リ	802	77
4	鹿 児 島 県	649	106	中 国	317	91	ロ シ ア	603	95
5	高 知 県	515	104	ロ シ ア	313	80	沖 縄 県	539	105
6	ノ ル ウ ェ ー	481	81	イ ン ド	269	106	宮 城 県	514	126
7	宮 城 県	475	129	ア メ リ カ	252	101	千 葉 県	449	91
8	鳥 取 県	407	86	イ ン ド ネ シ ア	209	113	ア メ リ カ	429	135
9	和 歌 山 県	368	65	ア ル ゼ ン チ ン	208	92	中 国	378	60
10	三 重 県	334	110	韓 国	185	175	ノ ル ウ ェ ー	341	103

(3) 主要品目別取扱量

(青 果)

① 本 場

種類 別 順位	青			果		
	野 菜			果 実		
	品 目	取扱数量 トン	前年比 %	品 目	取扱数量 トン	前年比 %
1	た ま ね ぎ	44,490	111	ふ じ	16,149	105
2	キ ャ ベ ツ	36,222	105	す い か	11,617	91
3	だ い こ ん	18,511	95	早生温州みかん	5,862	107
4	黄芯はくさい	18,328	100	普通温州みかん	5,062	107
5	ト マ ト	16,064	95	刀根早生かき	3,679	113
6	白 菜	14,356	105	青 バ ナ ナ	3,490	100
7	人 参	12,070	99	バ ナ ナ	3,417	84
8	胡 瓜	11,928	103	パインアップル	2,835	92
9	洋 に ん じ ん	11,452	101	ジョナゴールド	2,792	99
10	レ タ ス	10,843	98	シャインマスカット	2,621	115

② 東 部 市 場

種類 別 順位	青			果		
	野 菜			果 実		
	品 目	取扱数量 トン	前年比 %	品 目	取扱数量 トン	前年比 %
1	た ま ね ぎ	11,497	114	バ ナ ナ	22,652	96
2	青首だいこん	10,220	86	キウイフルーツ	4,526	103
3	キ ャ ベ ツ	10,045	100	パインアップル	2,990	84
4	黄芯はくさい	9,757	90	ふ じ	2,467	93
5	人 参	5,592	104	す い か	1,884	106
6	レ タ ス	3,548	96	レ モ ン	1,576	88
7	ト マ ト	3,050	98	早生温州みかん	1,360	110
8	夏秋キャベツ	2,786	99	ネーブルオレンジ	1,236	83
9	白 ね ぎ	2,728	89	ア ボ ガ ド	1,217	168
10	春 は く さ い	2,171	97	ぶ ど う	884	103

(水産物)

① 本 場

種類 別 順位	水 産 物								
	生 鮮 水 産 物			冷 凍 水 産 物			加 工 水 産 物		
	品 目	取扱数量	前年比	品 目	取扱数量	前年比	品 目	取扱数量	前年比
1	さ ば	2,716 ^{トン}	87 [%]	冷 凍 え び	1,684 ^{トン}	97 [%]	塩 ぎ ん さ け	1,300 ^{トン}	94 [%]
2	養 殖 ま だ い	2,526	75	冷 凍 か れ い	1,192	87	蒲 焼 う な ぎ	946	107
3	養 殖 ぶ り	1,980	95	冷 凍 き わ だ	648	107	塩 さ ば	835	80
4	か つ お	1,425	113	冷 凍 ぎ ん ざ け	605	95	ち り め ん	647	92
5	天 然 ぶ り	1,218	70	冷 凍 ず わ い が に	573	116	す け そ う た ら	510	74
6	た ら	1,167	82	冷 凍 ほ た て が い	478	338	ち り め ん 釜 あ げ	466	81
7	養 殖 ほ ん ま ぐ ろ	1,100	82	冷 凍 ほ ん ま ぐ ろ	381	128	茹 た こ	445	98
8	あ じ	1,009	82	冷 凍 め ば ち	374	95	明 太 子	442	83
9	天 然 は ま ち	971	97	冷 凍 バ ナ メ イ え び	244	122	塩 べ に さ け	223	136
10	ま い わ し	925	124	冷 凍 ブ ラ ッ ク タ イ ガ ー	242	119	塩 か ず の こ	193	95

② 東 部 市 場

種類 別 順位	水 産 物								
	生 鮮 水 産 物			冷 凍 水 産 物			加 工 水 産 物		
	品 目	取扱数量	前年比	品 目	取扱数量	前年比	品 目	取扱数量	前年比
1	養 殖 ま だ い	1,051 ^{トン}	83 [%]	冷 凍 た こ	1,428 ^{トン}	108 [%]	塩 ぎ ん さ け	1,562 ^{トン}	97 [%]
2	天 然 は ま ち	601	90	冷 凍 き わ だ	517	105	塩 さ ば	483	88
3	さ け	524	80	冷 凍 え び	425	104	か ま ぼ こ	391	91
4	養 殖 ぶ り	519	124	冷 凍 ず わ い が に	312	127	明 太 子	273	95
5	養 殖 か ん ば ち	513	95	冷 凍 大 西 洋 鯖	298	128	ち り め ん	221	72
6	さ ば	448	78	冷 凍 め ば ち	170	67	蒲 焼 う な ぎ	212	41
7	天 然 ぶ り	392	64	冷 凍 ぎ ん ざ け	160	60	塩 べ に さ け	206	129
8	た ら	382	88	冷 凍 あ か え び	159	80	丸 干 い わ し	169	108
9	ま い わ し	373	92	冷 凍 す る め い か	150	61	塩 す け そ う こ	134	89
10	養 殖 は ま ち	314	127	冷 凍 ブ ラ ッ ク タ イ ガ ー	141	126	佃 煮	130	104

6 年次別取扱高

① 本場・東部市場合計

〔 単位 数量：トン
金額：千円 〕

種類別		年別	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
		区分					
青	野 菜	数 量	513, 676	500, 015	493, 049	475, 107	469, 068
		金 額	107, 822, 006	111, 591, 611	108, 007, 045	112, 938, 589	115, 669, 851
果	果 実	数 量	200, 282	192, 260	200, 966	195, 133	189, 929
		金 額	25, 952, 948	85, 066, 569	88, 177, 583	91, 889, 269	95, 855, 462
	計	数 量	713, 957	692, 276	694, 016	670, 240	658, 997
		金 額	133, 774, 954	196, 658, 180	196, 184, 627	204, 827, 858	211, 525, 312
水 産 物	生 鮮	数 量	61, 687	58, 895	58, 733	52, 222	48, 342
		金 額	63, 942, 209	57, 009, 332	58, 954, 009	63, 296, 695	62, 297, 684
	冷 凍	数 量	24, 261	21, 893	20, 037	17, 198	16, 672
		金 額	32, 056, 199	27, 439, 802	27, 121, 761	27, 350, 055	27, 851, 037
	加 工	数 量	41, 026	40, 150	39, 480	34, 029	30, 492
		金 額	18, 546, 015	46, 656, 195	46, 476, 545	46, 299, 729	44, 927, 484
	その他	数 量	7, 223	6, 869	5, 518	4, 202	3, 721
		金 額	3, 732, 726	3, 506, 607	3, 126, 943	3, 095, 732	3, 099, 278
	計	数 量	134, 196	127, 806	123, 768	107, 651	99, 227
		金 額	118, 277, 149	134, 611, 937	135, 679, 258	140, 042, 210	138, 175, 482
加 工 食 料 品	つけ物	数 量	1, 769	805	238	253	273
		金 額	808, 633	387, 245	134, 952	144, 436	157, 387
	乾 物	数 量	1, 846	1, 598	1, 582	1, 660	1, 754
		金 額	2, 923, 613	2, 505, 274	2, 542, 850	2, 695, 573	2, 936, 450
	計	数 量	3, 615	2, 404	1, 820	1, 913	2, 027
		金 額	3, 732, 246	2, 892, 519	2, 677, 802	2, 840, 009	3, 093, 836
合 計	数 量	851, 768	822, 486	819, 603	779, 804	760, 251	
	金 額	255, 784, 349	334, 162, 635	334, 541, 687	347, 710, 077	352, 794, 631	

※項目別四捨五入のため合計と合致しないことがある。

※その他には魚肉入加工品と冷凍食品が含まれる。

② 本 場

〔 単位 数量：トン
金額：千円 〕

種類別		年別 区分	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
青 果	野 菜	数 量	385, 971	379, 809	378, 406	370, 892	368, 742
		金 額	84, 774, 390	88, 318, 307	86, 291, 088	91, 199, 965	94, 412, 390
	果 実	数 量	139, 573	132, 986	137, 586	135, 825	132, 886
		金 額	6, 269, 256	65, 086, 683	67, 161, 075	69, 966, 278	72, 897, 906
	計	数 量	525, 544	512, 795	515, 993	506, 718	501, 628
		金 額	91, 043, 646	153, 404, 990	153, 452, 163	161, 166, 244	167, 310, 297
水 産 物	生 鮮	数 量	47, 779	45, 021	44, 441	40, 094	37, 622
		金 額	49, 026, 413	42, 877, 731	43, 361, 029	46, 981, 324	47, 369, 703
	冷 凍	数 量	14, 353	13, 081	12, 243	10, 879	10, 627
		金 額	18, 548, 568	15, 693, 265	15, 907, 796	16, 889, 142	17, 597, 247
	加 工	数 量	25, 173	24, 120	23, 398	19, 345	17, 099
		金 額	3, 067, 097	29, 770, 862	29, 137, 838	27, 853, 919	27, 630, 657
	その他	数 量	5, 545	5, 308	4, 024	2, 407	2, 063
		金 額	2, 303, 427	2, 269, 579	1, 915, 820	1, 580, 142	1, 629, 975
	計	数 量	92, 851	87, 530	84, 106	72, 725	67, 410
		金 額	72, 945, 505	90, 611, 437	90, 322, 484	93, 304, 528	94, 227, 583
加 工 食 料 品	つけ物	数 量	441	273	238	253	273
		金 額	204, 303	154, 407	134, 952	144, 436	157, 387
	乾 物	数 量	1, 846	1, 598	1, 582	1, 660	1, 754
		金 額	2, 923, 613	2, 505, 274	2, 542, 850	2, 695, 573	2, 936, 450
	計	数 量	2, 287	1, 871	1, 820	1, 913	2, 027
		金 額	3, 127, 915	2, 659, 682	2, 677, 802	2, 840, 009	3, 093, 836
合 計	数 量	620, 683	602, 196	601, 919	581, 356	571, 065	
	金 額	167, 117, 067	246, 676, 108	246, 452, 449	257, 310, 780	264, 631, 716	

※項目別四捨五入のため合計と合致しないことがある。

※その他には魚肉入加工品と冷凍食品が含まれる。

③ 東部市場

〔 単位 数量：トン
金額：千円 〕

種類別		年別	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
		区分					
青	野 菜	数 量	127, 704	120, 207	114, 643	104, 215	100, 326
		金 額	23, 047, 616	23, 273, 304	21, 715, 956	21, 738, 623	21, 257, 460
果	果 実	数 量	60, 709	59, 274	63, 380	59, 308	57, 043
		金 額	19, 683, 692	19, 979, 886	21, 016, 508	21, 922, 991	22, 957, 556
	計	数 量	188, 413	179, 481	178, 023	163, 523	157, 369
		金 額	42, 731, 308	43, 253, 190	42, 732, 464	43, 661, 614	44, 215, 016
水産物	生 鮮	数 量	13, 907	13, 874	14, 292	12, 128	10, 720
		金 額	14, 915, 796	14, 131, 601	15, 592, 980	16, 315, 371	14, 927, 981
	冷 凍	数 量	9, 907	8, 811	7, 794	6, 319	6, 045
		金 額	13, 507, 631	11, 746, 537	11, 213, 965	10, 460, 912	10, 253, 790
	加 工	数 量	15, 852	16, 030	16, 082	14, 683	13, 394
		金 額	15, 478, 918	16, 885, 333	17, 338, 707	18, 445, 810	17, 296, 826
	その他	数 量	1, 677	1, 562	1, 494	1, 795	1, 658
		金 額	1, 429, 298	1, 237, 028	1, 211, 123	1, 515, 590	1, 469, 303
	計	数 量	41, 344	40, 276	39, 662	34, 925	31, 817
		金 額	45, 331, 644	44, 000, 500	45, 356, 774	46, 737, 683	43, 947, 899
加工食品	つけ物	数 量	1, 328	532	—	—	—
		金 額	604, 331	232, 837	—	—	—
	乾 物	数 量	—	—	—	—	—
		金 額	—	—	—	—	—
	計	数 量	1, 328	532	—	—	—
		金 額	604, 331	232, 837	—	—	—
合 計		数 量	231, 085	220, 290	217, 684	198, 448	189, 186
		金 額	88, 667, 283	87, 486, 527	88, 089, 239	90, 399, 297	88, 162, 915

※項目別四捨五入のため合計と合致しないことがある。

※その他には魚肉入加工品と冷凍食品が含まれる。

※東部市場は令和2年6月21日付けで加工食料品部を廃止。

7 取扱品搬出状況（令和5年10月13日調査）

〔 上段：搬出件数及びその構成比 %
下段：搬出数量kg及びその構成比 %
(乾物については、金額（千円）表示) 〕

① 地域別搬出量（本場・東部市場計）

地域別	種類別		野		菜		果		実		生鮮水産物		冷凍水産物		加工水産物		つ け 物		合 計		乾 物	
	合 計		2, 111	100%	1, 309	100%	2, 042	100%	847	100%	1, 080	100%	52	100%	7, 441	100%	80	100%	2, 091	100%	60	75%
			1, 410, 862	100%	788, 287	100%	113, 855	100%	54, 264	100%	79, 348	100%	1, 248	100%	2, 447, 864	100%	2, 091	100%	844	40%	20	25%
	供給対象区域内		1, 387	66%	719	55%	1, 447	71%	626	74%	751	70%	34	65%	4, 964	67%	60	75%	844	40%	1, 247	60%
	供給対象区域外		775, 736	55%	380, 143	48%	63, 430	56%	38, 205	70%	61, 698	78%	880	71%	1, 320, 093	54%	844	40%	20	25%	58	73%
			635, 126	45%	408, 144	52%	50, 425	44%	16, 059	30%	17, 650	22%	368	29%	1, 127, 771	46%	1, 247	60%	596	29%	9	11%
	大 阪 市 内		1, 050	50%	531	41%	1, 095	54%	445	53%	560	52%	25	48%	3, 706	50%	58	73%	596	29%	360	17%
			588, 643	42%	138, 452	18%	48, 858	43%	22, 977	42%	47, 148	59%	734	59%	846, 813	35%	596	29%	360	17%	4	5%
	大 阪 府 下		559	26%	335	26%	570	28%	267	32%	311	29%	22	42%	2, 064	28%	9	11%	360	17%	112	5%
			411, 908	29%	308, 577	39%	28, 669	25%	20, 989	39%	20, 604	26%	251	20%	790, 999	32%	112	5%	0	0%	5	6%
	※北大阪地域		188	9%	133	10%	187	9%	44	5%	97	9%	5	10%	654	9%	4	5%	0	0%	248	12%
			267, 020	19%	274, 425	35%	6, 184	5%	2, 640	5%	3, 771	5%	20	2%	554, 060	23%	112	5%	530	25%	4	5%
	※東大阪地域		181	9%	100	8%	190	9%	101	12%	97	9%	15	29%	684	9%	0	0%	605	29%	5	6%
			59, 950	4%	13, 910	2%	5, 003	4%	13, 386	25%	12, 759	16%	111	9%	105, 119	4%	0	0%	605	29%	5	6%
	※南大阪地域		190	9%	102	8%	193	9%	122	14%	117	11%	2	4%	726	10%	5	6%	605	29%	5	6%
			84, 938	6%	20, 242	3%	17, 482	15%	4, 963	9%	4, 074	5%	120	10%	131, 819	5%	248	12%	605	29%	5	6%
	近 畿 圏		392	19%	296	23%	321	16%	115	14%	172	16%	2	4%	1, 298	17%	9	11%	605	29%	5	6%
			315, 078	22%	196, 205	25%	26, 926	24%	9, 246	17%	7, 918	10%	11	1%	555, 383	23%	530	25%	605	29%	5	6%
	そ の 他 県		110	5%	147	11%	56	3%	20	2%	37	3%	3	6%	373	5%	4	5%	605	29%	5	6%
			95, 233	7%	145, 053	18%	9, 401	8%	1, 052	2%	3, 678	5%	252	20%	254, 669	10%	605	29%	605	29%	5	6%

※北大阪地域～豊中市、吹田市、摂津市、高槻市、茨木市、池田市、箕面市、豊能郡、三島郡

※東大阪地域～東大阪市、八尾市、守口市、大東市、柏原市、門真市、枚方市、寝屋川市、四條畷市、交野市

※南大阪地域～堺市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、岸和田市、貝塚市、泉佐野市、和泉市、泉大津市、富田林市、河内長野市、高石市、泉南市、大阪狭山市、

阪南市、南河内郡、泉南郡、泉北郡

※項目ごとの四捨五入のため、合計が100%にならないことがある。また、数量等についても項目ごとの四捨五入のため、合計と一致しないことがある。

上段：搬出件数及びその構成比 %
 下段：搬出数量kg及びその構成比 %
 (乾物については、金額(千円)表示)

② 地域別搬出量(本 場)

地域別	種別	野	菜	果	実	生鮮水産物	冷凍水産物	加工水産物	つ け 物	合 計	乾 物
合 計		1,578	100%	1,113	100%	1,363	100%	516	100%	4,992	100%
		1,139,734	100%	721,853	100%	64,122	100%	40,745	100%	1,976,224	100%
供給対象区域内		959	61%	559	50%	898	66%	313	61%	3,029	61%
供給対象区域外		605,464	53%	349,525	48%	27,346	43%	29,120	71%	1,018,164	52%
		619	39%	554	50%	465	34%	203	39%	1,963	39%
		534,270	47%	372,328	52%	36,776	57%	11,625	29%	958,060	48%
大 阪 市 内		744	47%	414	37%	700	51%	246	48%	2,335	47%
		464,506	41%	110,939	15%	19,301	30%	28,200	59%	628,504	32%
大 阪 府 下		382	24%	282	25%	362	27%	134	26%	1,280	26%
		344,377	30%	294,745	41%	18,454	29%	4,191	10%	663,799	34%
※北大阪地域		176	11%	125	11%	166	12%	61	12%	567	11%
		260,514	23%	263,712	37%	5,152	8%	1,732	4%	531,767	27%
※東大阪地域		90	6%	74	7%	101	7%	41	8%	351	7%
		27,988	2%	12,173	2%	1,833	3%	494	1%	43,031	2%
※南大阪地域		116	7%	83	7%	95	7%	32	6%	362	7%
		55,875	5%	18,860	3%	11,469	18%	1,965	5%	89,001	5%
近 畿 圏		350	22%	281	25%	255	19%	109	21%	1,056	21%
		252,967	22%	186,924	26%	18,678	29%	5,423	13%	465,571	24%
そ の 他 県		102	6%	136	12%	46	3%	27	5%	321	6%
		77,884	7%	129,245	18%	7,688	12%	2,931	7%	218,349	11%

※北大阪地域～豊中市、吹田市、摂津市、高槻市、茨木市、池田市、箕面市、豊能郡、三島郡

※東大阪地域～東大阪市、八尾市、守口市、大東市、柏原市、門真市、枚方市、寝屋川市、四條畷市、交野市

※南大阪地域～堺市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、岸和田市、貝塚市、泉佐野市、和泉市、泉大津市、富田林市、河内長野市、高石市、泉南市、大阪狭山市、阪南市、南河内郡、泉南郡、泉北郡

※項目ごとの四捨五入のため、合計が100%にならないことがある。また、数量等についても項目ごとの四捨五入のため、合計と一致しないことがある。

上段：搬出件数及びその構成比 %
 下段：搬出数量kg及びその構成比 %

③ 地域別搬出量（東 部 市 場）

種類別 地域別		野		菜		果		実		生鮮水産物		冷凍水産物		加工水産物		合	計
合 計		533	100%	196	100%	679	100%	477	100%	564	100%	2,449	100%				
		271,128	100%	66,434	100%	49,733	100%	45,741	100%	38,604	100%	471,640	100%				
供給対象区域内		428	80%	160	82%	549	81%	360	75%	438	78%	1,935	79%				
		170,272	63%	30,618	46%	36,084	73%	32,376	71%	32,579	84%	301,929	64%				
供給対象区域外		105	20%	36	18%	130	19%	117	25%	126	22%	514	21%				
		100,856	37%	35,816	54%	13,649	27%	13,365	29%	6,025	16%	169,711	36%				
大 阪 市 内		306	57%	117	60%	395	58%	239	50%	314	56%	1,371	56%				
		124,137	46%	27,513	41%	29,557	59%	18,153	40%	18,949	49%	218,309	46%				
大 阪 府 下		177	33%	53	27%	208	31%	169	35%	177	31%	784	32%				
		67,531	25%	13,832	21%	10,215	21%	19,208	42%	16,413	43%	127,199	27%				
※北大阪地域		12	2%	8	4%	21	3%	10	2%	36	6%	87	4%				
		6,506	2%	10,713	16%	1,032	2%	2,003	4%	2,039	5%	22,293	5%				
※東大阪地域		91	17%	26	13%	89	13%	71	15%	56	10%	333	14%				
		31,962	12%	1,737	3%	3,170	6%	12,954	28%	12,265	32%	62,088	13%				
※南大阪地域		74	14%	19	10%	98	14%	88	18%	85	15%	364	15%				
		29,063	11%	1,382	2%	6,013	12%	4,251	9%	2,109	5%	42,818	9%				
近 畿 圏		42	8%	15	8%	66	10%	56	12%	63	11%	242	10%				
		62,111	23%	9,281	14%	8,248	17%	7,677	17%	2,495	6%	89,812	19%				
そ の 他 県		8	2%	11	6%	10	1%	13	3%	10	2%	52	2%				
		17,349	6%	15,808	24%	1,713	3%	703	2%	747	2%	36,320	8%				

※北大阪地域～豊中市、吹田市、摂津市、高槻市、茨木市、池田市、箕面市、豊能郡、三島郡

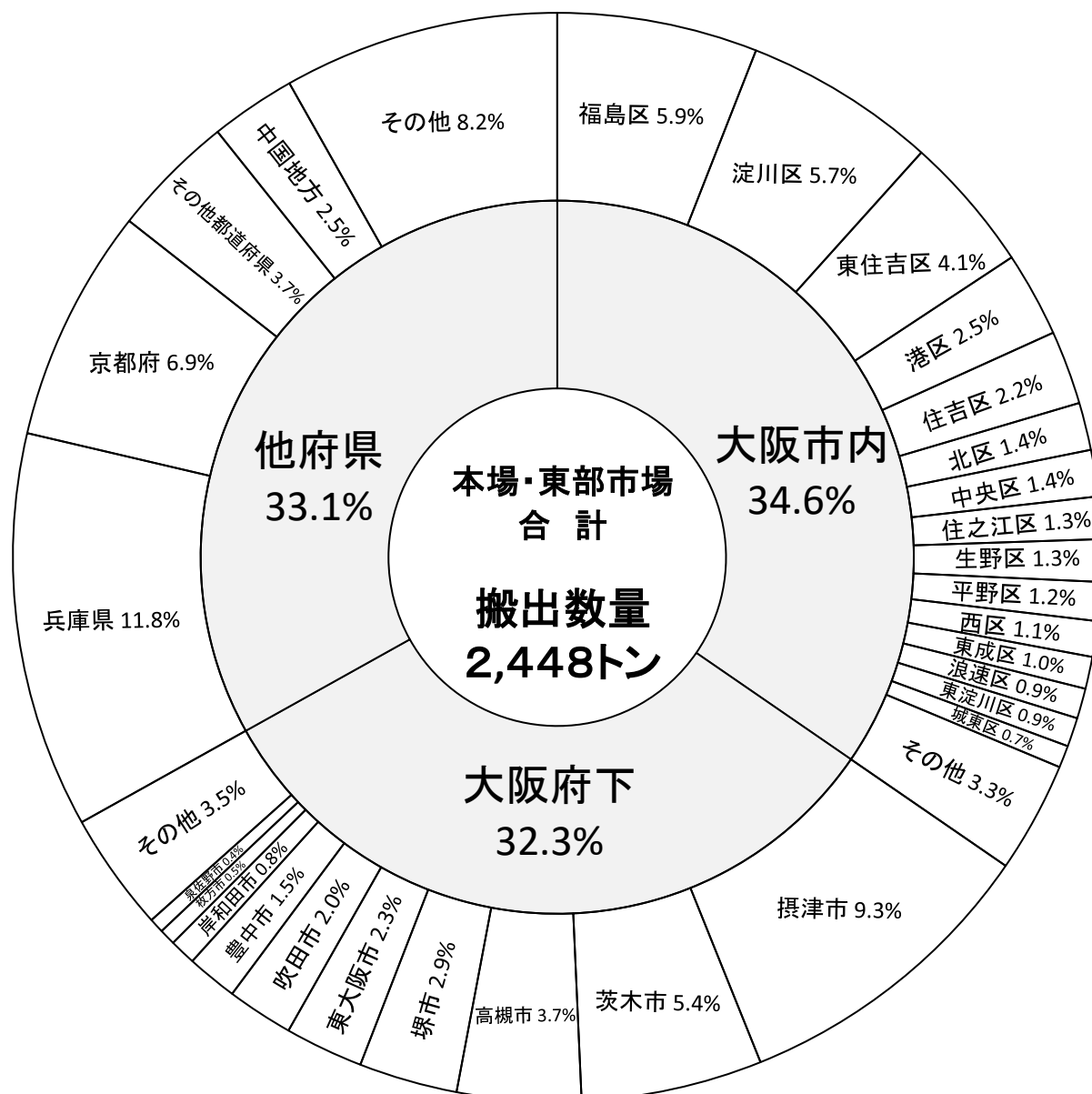
※東大阪地域～東大阪市、八尾市、守口市、大東市、柏原市、門真市、枚方市、寝屋川市、四條畷市、交野市

※南大阪地域～堺市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、岸和田市、貝塚市、泉佐野市、和泉市、泉大津市、富田林市、河内長野市、高石市、泉南市、大阪狭山市、阪南市、南河内郡、泉南郡、泉北郡

※項目ごとの四捨五入のため、合計が100%にならないことがある。また、数量等についても項目ごとの四捨五入のため、合計と一致しないことがある。

地域別搬出量グラフ

(乾物を除く)



令和5年10月13日調査

※項目別四捨五入のため内訳の計と合計が一致しない場合がある。

年次別搬出区域比率表

区分 年別	本 場			東 部 市 場		
	大 阪 市 内	大 阪 府 下	他都道府県	大 阪 市 内	大 阪 府 下	他都道府県
平成 25	% 22	% 20	% 58	% 35	% 37	% 28
30	33	27	40	43	35	22
令和 4	27	19	53	34	38	28
5	32	34	35	46	27	27

※毎年1回特定の1日による調査結果である。

※項目ごとの四捨五入のため、合計が100%にならないことがある。

8 種類・業務形態別搬出割合表（令和5年10月13日調査）

種類 業務形態		野菜	果実	生鮮水産物	冷凍水産物	加工水産物	つけ物	合計	乾物
本場	小売業者	25	8	21	18	4	34	18	10
	スーパー	35	35	38	49	25	21	35	7
	加工業者	7	29	1	4	11	6	15	31
	給食業者	4	0	0	4	0	6	2	3
	飲食業者	1	1	14	15	1	3	2	14
	その他	27	27	25	10	60	29	27	36
東部市場	小売業者	17	19	33	11	14	—	18	—
	スーパー	46	15	24	22	38	—	36	—
	加工業者	13	15	2	1	6	—	11	—
	給食業者	9	0	2	8	2	—	6	—
	飲食業者	1	0	26	57	15	—	10	—
	その他	14	50	12	1	26	—	19	—
合計	小売業者	24	9	27	12	8	34	18	10
	スーパー	37	33	32	26	31	21	35	7
	加工業者	9	28	1	2	9	6	14	31
	給食業者	5	0	1	7	1	6	3	3
	飲食業者	1	1	19	50	8	3	3	14
	その他	24	29	20	2	43	29	26	36

（単位：％）

※乾物は、取扱金額による割合
（東部市場は令和2年6月21日付けで加工食料品部を廃止）
※項目ごとの四捨五入のため、合計が100%にならないことがある。

9 入出場調査（24時間）

調査日：令和5年10月12日正午～10月13日正午

種 別 \ 市 場	本 場				東 部 市 場			
	入場(台)	出場(台)	滞留（ピーク時）		入場(台)	出場(台)	滞留（ピーク時）	
歩 行 者	3,761	3,773			1,221	1,194		
二 輪 車	4,063	3,398	2,248	13日 8時頃	1,247	1,251	454	13日 8時頃
軽 貨 物 車	1,964	2,018	469	13日 6時頃	904	918	200	13日 4時頃
普 通 貨 物 車	3,262	3,362	819	13日 4時頃	1,627	1,602	186	13日 3時頃
大 型 貨 物 車	921	934	118	12日 12時頃	228	233	19	12日 20時頃
乗 用 車	3,177	3,303	1,616	13日 6時頃	1,201	1,303	447	13日 7時頃
タクシー、バス、その他	68	71	3	12日 12～14時頃	9	9	1	12日 12時頃
自 動 車 合 計	9,392	9,688	2,793	13日 5時頃	3,969	4,065	739	13日 6時頃

過去入場者数（10年前・5年前・前年）

（本 場）

種 別 \ 調 査 日	歩行者 人	二輪車 台	軽 貨物車 台	普 通 貨物車 台	大 型 貨物車 台	乗用車 台	タクシー バ ス その他 台	自動車 合 計 台
25.10. 4正午～ 5正午	4,150	4,599	2,845	2,993	1,269	4,939	393	12,439
30.10.19正午～20正午	3,679	3,972	2,432	4,121	822	3,780	217	11,372
4.10.13正午～14正午	3,763	3,493	2,384	2,778	1,030	3,274	104	9,570

（東部市場）

種 別 \ 調 査 日	歩行者 人	二輪車 台	軽 貨物車 台	普 通 貨物車 台	大 型 貨物車 台	乗用車 台	タクシー バ ス その他 台	自動車 合 計 台
25.10. 4正午～ 5正午	1,927	1,370	1,393	1,627	480	1,910	36	5,446
30.10.19正午～20正午	1,576	1,440	1,464	1,950	333	1,420	10	5,177
4.10.13正午～14正午	1,383	1,366	1,042	1,401	394	1,540	6	4,383

南港市場

1 市場の沿革

昭和 14 年 2 月に開設していた「大阪市立と畜場」に併設して、昭和 33 年 1 月 16 日、中央卸売市場法（現「卸売市場法」）に基づき、食肉を取り扱う「中央卸売市場食肉市場」を大阪市が全国に先がけて西成区に開設しました。

その後、施設の狭あい・老朽化とともに、食肉の流通形態の大きな変化に対応するため、南港南埠頭地区への移転を決定し（昭和 56 年 11 月に着工、昭和 59 年 3 月末に完成）、名称も「南港市場」と改め、近代的で衛生的な食肉処理場などの設備を備えた緑に囲まれた市場として、昭和 59 年 4 月 2 日から装いも新たに業務を開始しました。

また、平成 8 年に O157 による大規模食中毒が国内で発生したことを受け、同年 12 月にと畜場法施行規則の一部が改正されたことに伴い、解体ラインを改良するなどの衛生対策を講じました。加えて、平成 10 年度には、せり機械の更新及び情報化機能の強化を行い市場の I T 化に努めるなど、市場機能の向上を図ってきました。

その後、平成 12 年に口蹄疫、さらに平成 13 年には B S E（牛海綿状脳症）が相次いで国内で発生し、ハード・ソフト両面にわたって、さらに厳しく徹底した衛生対策を講じてきました。特に B S E 発生後は、関係業界と一体となって食肉の安全確保に取り組み、平成 22 年に再び口蹄疫が国内で発生した際にも、関係業界とともに徹底した防疫対策を講じるなど、消費者に対して常に安全かつ安心な食肉を提供できるよう、積極的な市場運営を進めています。

また、南港移転後の施設の狭あい・老朽化とともに、食肉流通にかかる H A C C P 等、衛生水準の向上に対応するため、平成 27 年 1 月に「南港市場将来戦略プラン」を策定し、令和 3 年 2 月より、南港市場施設整備工事に着手し、令和 9 年度事業完了をめざして施設整備事業を進めています。

2 市場の施設

南港市場

位 置 大阪市住之江区南港南5丁目2番48号

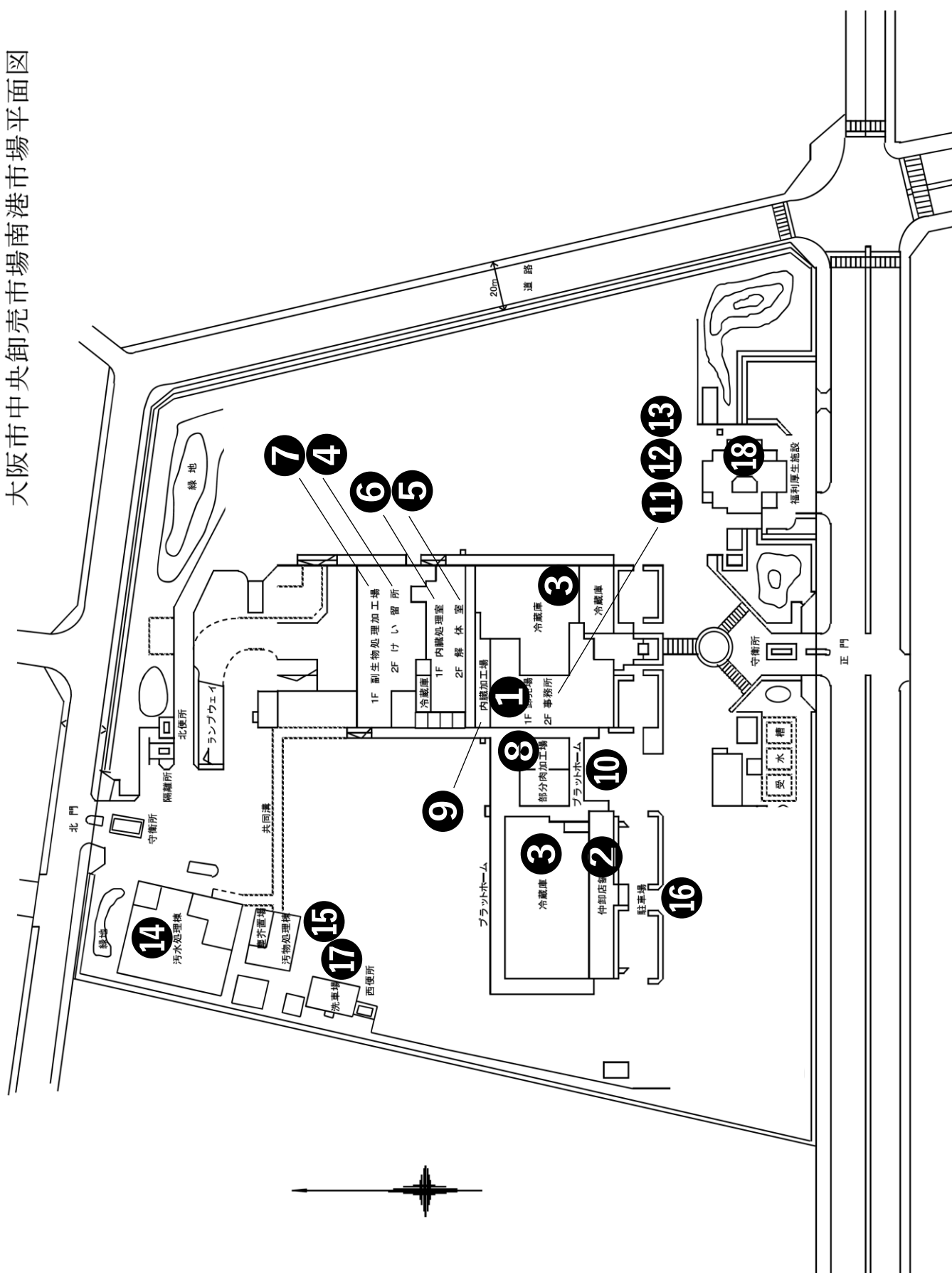
面 積 敷 地 100,079㎡

建面積 21,345㎡ 延面積 31,140㎡

主要施設

施設名称	面積㎡
①卸売場	1,594
②仲卸売場	2,948
③冷蔵庫	5,623
④けい留所	1,991
⑤食肉処理場	1,259
⑥内臓処理場	1,434
⑦副産物処理場	1,870
⑧部分肉加工場	908
⑨内臓加工場	268
⑩買荷保管・積込所	475
⑪検査施設	863
⑫管理事務所	1,351
⑬業者事務所	3,028
⑭汚水処理施設	695
⑮汚物処理施設	514
⑯駐車場	12,000
⑰洗車場	308
⑱福利厚生棟	1,487

大阪市中央卸売市場南港市場平面図



3 取扱品目

肉類（鳥肉を除く）及びその加工品

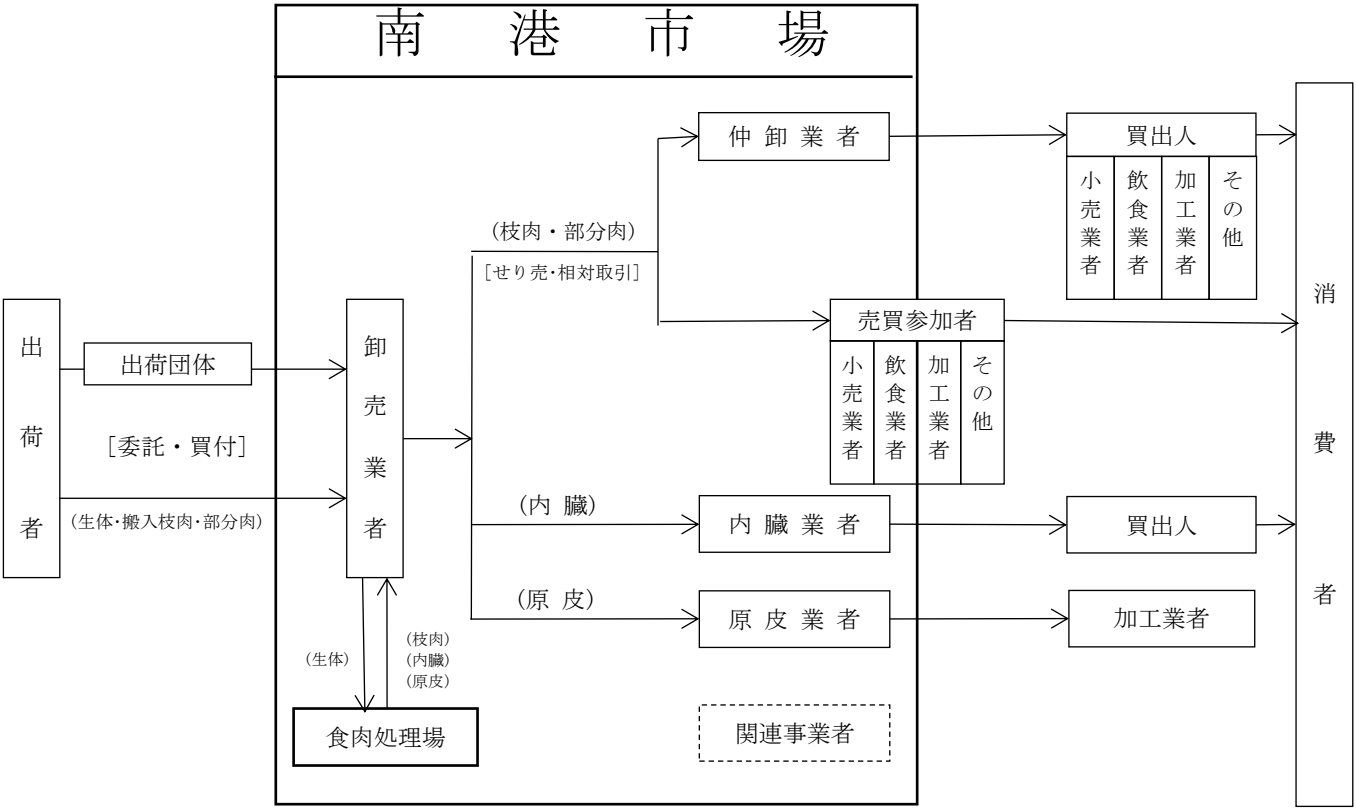
4 市場の機構

市場の機構及び業務運営は、すべて卸売市場法、同法施行規則、大阪市中心卸売市場業務条例、同条例南港市場施行規則及びと畜場法、大阪市食肉処理場条例、同条例施行規則に基づいています。市場機構の主たるものは次のとおりです。

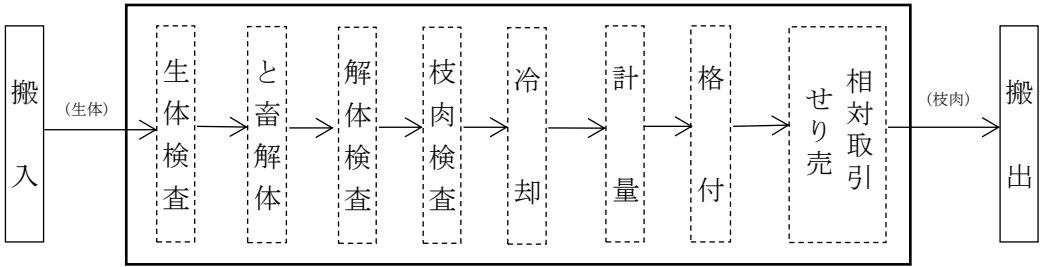
なお、開設者は大阪市内で、市場施設の維持管理と業務運営の指導監督にあたっています。

- (1) **卸売業者** 市長の許可を受け、出荷者から生鮮食料品等の販売の委託を受け又は買い受けて、せり売、入札又は相対取引によって仲卸業者及び売買参加者等に販売する者。
- (2) **仲卸業者** 市長の認定を受けて、市場内に設置する店舗において、卸売業者から卸売を受けた生鮮食料品等を仕分けし、または調製して小売業商、その他の買出人に販売する者。
- (3) **売買参加者** 仲卸業者でない者で、市長の認定により、せり又は入札に参加して卸売業者から卸売を受けることができ、直接消費者に販売することを業務とする大口需要者等。
- (4) **関連事業者** 市長の承認を受けて、市場において市場機能の充実に資する業務または市場の利用者に便益を提供する業務を市場内において行う者。現在承認している者は、4 業者。
- (5) **関係機関**
 - ①格付機関
公益社団法人日本食肉格付協会が市長の指定を受けて市場で取引される枝肉の格付を行います。
 - ②検査機関
と畜場法に基づいて、大阪市（健康局）が食肉の衛生検査を行います。

(6) 取引の経路



(生体搬入から枝肉搬出まで)



(7) 卸売業者数、仲卸業者数及び売買参加者数

(令和6年4月1日現在)

業者	卸売業者	仲卸業者	売買参加者
食肉	1	18	110

5 取扱数量及び金額

(1) 令和5年中と畜頭数(作業日数242日)

種 類 別	1日平均	1年間
牛	84	20,225
馬	－	－
豚	145	35,148
子 牛	0	(3)
子 馬	－	－
羊	－	－
合 計	229	55,373

※子牛は牛の内数

(2) 令和5年中取扱高(開場日数242日)

種 類 別		1日平均		1年間	
		数 量	金 額	数 量	金 額
成 牛	枝 肉	トン 39.1	千円 72,296	トン 9,454	千円 17,495,514
	国内産部分肉	－	－	－	－
	輸入部分肉	－	－	－	－
豚	枝 肉	11.2	60	2,708	14,628
	国内産部分肉	－	－	－	－
	輸入部分肉	－	－	－	－
子 牛		0.0	0	0	31
馬 その他		－	－	－	－
合 計		50.3	72,356	12,162	17,510,142

※項目別四捨五入のため合計と合致しないことがある。

(3) 令和 5 年中産地別取扱頭数（枝肉）

種類別 順位	成 牛								
	和 牛			交 雑 牛			乳 牛		
	産 地	頭 数	前年比	産 地	頭 数	前年比	産 地	頭 数	前年比
1	佐 賀	1, 331	109. 1	愛 知	2, 012	88. 2	大 阪	73	101. 4
2	鹿 児 島	1, 167	87. 5	徳 島	1, 354	86. 2	徳 島	51	106. 3
3	熊 本	1, 097	78. 8	熊 本	1, 272	164. 3	北 海 道	41	157. 7
4	徳 島	944	128. 3	静 岡	1, 137	114. 0	鳥 取	39	88. 6
5	宮 崎	662	75. 1	北 海 道	1, 003	136. 5	長 野	26	68. 4
6	長 崎	625	132. 4	愛 媛	811	95. 1	兵 庫	17	34. 7
7	長 野	449	112. 8	鳥 取	595	102. 6	奈 良	13	260. 0
8	広 島	380	149. 0	広 島	481	125. 9	和 歌 山	11	78. 6
9	岡 山	353	83. 3	長 崎	455	55. 0	広 島	2	—
10	山 口	344	97. 7	栃 木	407	118. 3	愛 知	1	—
その他21県		1, 671	95. 3	その他14県	1, 373	107. 3	その他3県	3	100. 0
合 計		9, 023	95. 6	合 計	10, 900	101. 9	合 計	277	90. 8
							成牛合計	20, 200	98. 8

種類別 順位	豚		
	産 地	頭 数	前年比
1	岡 山	10, 344	80. 9 %
2	兵 庫	5, 474	107. 0
3	京 都	4, 327	82. 1
4	愛 媛	2, 300	85. 8
5	三 重	2, 225	68. 3
6	奈 良	2, 191	68. 4
7	大 阪	2, 120	89. 8
8	広 島	2, 048	53. 5
9	和 歌 山	1, 934	76. 2
10	鳥 取	1, 104	30. 4
その他 4 県		1, 048	59. 3
豚合計		35, 115	75. 6

6 年次別取扱高

頭数：頭
単位 重量：トン
金額：千円

畜 種			年別	区分	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
成 牛	枝 肉	和 牛	頭 数		9,087	10,591	9,925	9,439	9,023
			重 量		4,426	5,214	4,859	4,644	4,386
			金 額		10,953,443	11,362,843	12,303,714	11,361,993	10,228,633
		交 雑 牛	頭 数		10,663	9,447	9,604	10,701	10,900
			重 量		5,338	4,809	4,903	5,502	5,671
			金 額		8,730,817	6,881,813	7,757,328	8,394,014	8,483,840
		乳 牛	頭 数		727	473	490	305	277
			重 量		259	176	181	108	97
			金 額		201,160	127,785	144,332	80,666	66,327
		外 国 牛	頭 数		-	-	-	-	-
			重 量		-	-	-	-	-
			金 額		-	-	-	-	-
		計	頭 数		20,477	20,511	20,019	20,445	20,200
			重 量		10,023	10,199	9,942	10,255	10,154
			金 額		19,885,420	18,372,441	20,205,374	19,836,674	18,778,800
	部 分 肉	国 産	頭 数		-	-	-	-	-
			重 量		-	-	-	-	-
			金 額		-	-	-	-	-
		輸 入	頭 数		-	-	-	-	-
			重 量		-	-	-	-	-
			金 額		-	-	-	-	-
		計	頭 数		-	-	-	-	-
			重 量		-	-	-	-	-
			金 額		-	-	-	-	-
	合 計		頭 数		20,477	20,511	20,019	20,445	20,200
			重 量		10,023	10,199	9,942	10,255	10,154
			金 額		19,885,420	18,372,441	20,205,374	19,836,674	18,778,800
豚	枝 肉		頭 数		50,471	45,343	45,733	46,438	35,115
			重 量		4,416	4,004	4,042	4,007	2,996
			金 額		1,938,459	1,835,044	1,725,792	1,773,211	1,572,464
	部 分 肉	国 産	頭 数		-	-	-	-	-
			重 量		-	-	-	-	-
			金 額		-	-	-	-	-
		輸 入	頭 数		-	-	-	-	-
			重 量		-	-	-	-	-
			金 額		-	-	-	-	-
		計	頭 数		-	-	-	-	-
			重 量		-	-	-	-	-
			金 額		-	-	-	-	-
	合 計		頭 数		50,471	45,343	45,733	46,438	35,115
			重 量		4,416	4,004	4,042	4,007	2,996
			金 額		1,938,459	1,835,044	1,725,792	1,773,211	1,572,464
その他			頭 数		12	3	3	7	2
			重 量		2	0	0	1	0
			金 額		883	113	184	247	81
総 計			頭 数		70,960	65,857	65,755	66,890	55,317
			重 量		14,441	14,203	13,984	14,262	13,150
			金 額		21,824,763	20,207,598	21,931,350	21,610,131	20,351,345

※項目別四捨五入のため合計と合致しないことがある。

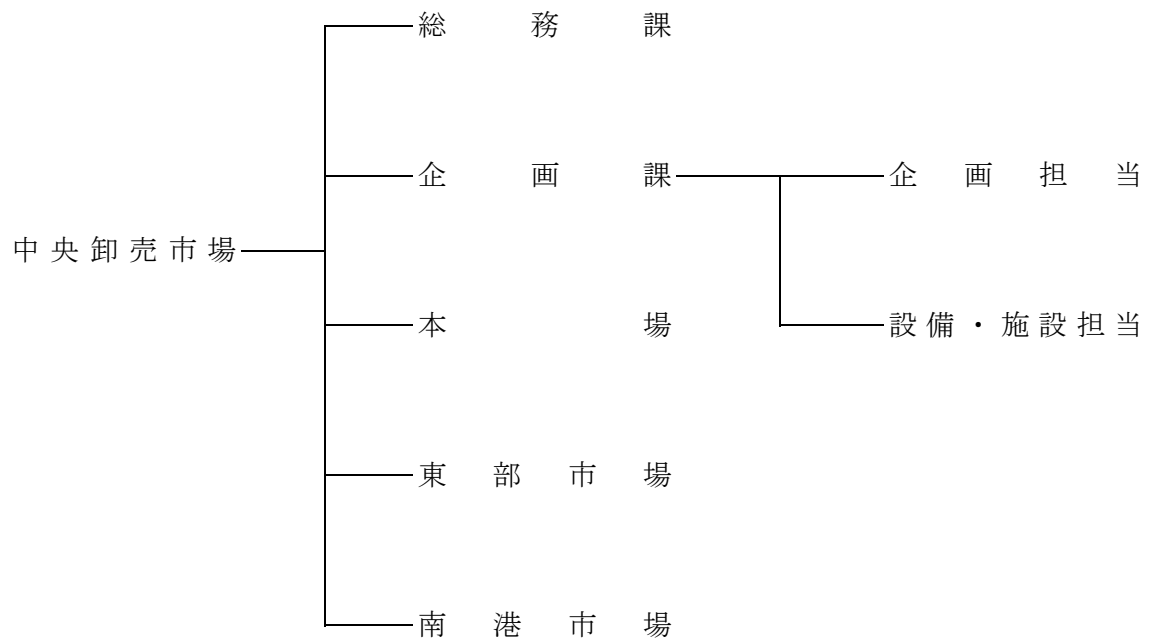
7 入出場調査

(令和 5 年11月30日正午～12月 1 日正午調)

種別 \ 区分			入 出 場	
自 動 車			入 場	出 場
	乗用車		210 (22)	207 (3)
	二輪車		28 (0)	32 (0)
	貨物車	大型	13 (0)	16 (0)
		中型	27 (0)	22 (1)
		小型	24 (3)	22 (0)
	保冷車	大型	6 (1)	4 (1)
		中型	42 (5)	31 (1)
		小型	26 (0)	39 (1)
	自動車合計		376 (31)	373 (7)
入出場者			入 場	出 場
	自動車		407	380
	歩行者（送迎バス含む）		243	186
入出場者合計			650	566

() は同乗者数

市場の事務機構



市場の年表

本場・東部市場	年 代	南港市場
中央卸売市場法公布 本場開設の認可 本場建設に着工 本場完成 11月11日業務開始	明治39年 明治42年 明治43年 大正12年 大正14年 昭和4年 昭和6年 昭和11年	と場法公布 村営と場開設（西成郡今宮村） 家畜市場法公布 大阪市立と場開設（現大正区） 中央卸売市場法公布 今宮と場を本市が継承し大阪市立今宮と場と改称
物資統制令公布、仲買制度廃止 天満分場（北区）開場[同20年廃止] 木津分場（浪速区）開場[同20年廃止] 南部分場（住吉区）開場[昭和46年廃止] 北部分場（西淀川区）開場[同19年廃止] 東部分場（東住吉区）開場[同21年休止]	昭和13年 昭和14年 昭和16年 昭和17年 昭和18年	大阪市立家畜市場開設（西成区松通） 大阪市立と場建設に着工 大阪市立家畜市場移転（西成区津守） 大阪市立と場開設（2と場合併）
仲買制度及びせり取引開始	昭和24年 昭和25年 昭和28年	家畜市場法廃止 と場法廃止、と畜場法公布 大阪市立と畜場と改称 大阪市立家畜市場閉鎖 中央卸売市場食肉市場開設（全国で最初）
東部市場建設に着工 日曜週休制実施 東部市場開設の認可 東部市場完成 11月25日業務開始 中央卸売市場法廃止、卸売市場法公布	昭和32年 昭和33年 昭和35年 昭和39年	
祝祭日休市実施 本場拡張施設工事に着工 本場拡張施設業務開始 東部市場拡張施設工事に着工 東部市場拡張施設業務開始 東部市場施設改築工事に着工 東部市場施設改築工事完成	昭和46年 昭和47年 昭和50年 昭和51年 昭和52年 昭和53年 昭和56年 昭和59年	中央卸売市場法廃止、卸売市場法公布 豚肉、豚生体、牛生体の輸入自由化
本場・東部市場の鉄道貨物引込線廃止 本場整備事業に着工	昭和60年	南港市場建設に着工 大阪市立と畜場、大阪市中心卸売市場食肉市場での業務を廃止（西成区津守） 南港市場完成 4月2日業務開始
本場業務管理棟完成 本場市場棟（第1期）完成 本場市場棟（第2期）完成 卸売市場法改正（公布・施行） 東部市場配送・加工センター完成 本場市場棟（第3期）・関連棟完成 卸売市場法改正（公布・施行） 本場配送加工棟完成 東部市場再整備工事に着工 東部市場青果卸売場棟（第1期）完成 東部市場冷蔵庫棟完成 東部市場関連棟（西棟・東棟）完成 東部市場青果卸売場棟（第2期）完成 東部市場大屋根完成 東部市場水産卸売場全面低温化完成 東部市場荷さばき出荷ゾーン完成 卸売市場法改正（公布） 卸売市場法改正（施行）	平成2年 平成3年 平成4年 平成8年 平成11年 平成12年 平成14年 平成16年 平成20年 平成22年 平成23年 平成24年	牛肉の輸入自由化 卸売市場法改正（公布・施行） 卸売市場法改正（公布・施行）
本場買荷積込所完成	平成30年 令和2年 令和3年 令和5年	卸売市場法改正（公布） 卸売市場法改正（施行） 南港市場施設整備工事に着工